

被害の実態

愛知県は住宅対象侵入盗が多発しています!



割れたガラス



玄関ドア



黒づくめ

まずできる対策

侵入盗の対策をご紹介します!

◎しっかり鍵をかけましょう!

◎窓には補助鍵!



防犯の4原則

犯罪を防止するための4つの原則、これは「時間・光・音・地域の目」です。この4原則に基づく対策を組み合わせることで、より大きな防犯効果が得られます。

時間

侵入までに時間のかかる建物部品を!

光

家の周りを明るく!

音

警報機、防犯砂利で周囲に侵入を知らせる!

目

住民同士の連携、不審者への声掛けを!

新築・改装の時には防犯住宅を!

※認定防犯住宅の基準の一部です。

見通し



見通しのよいフェンス等で監視性を確認

CP 防犯ガラス



ガラス破損時でも、耐貫通性に優れた特殊樹脂膜が侵入を防ぐ

CP

雨戸・シャッターの活用



基本的な対策でもガラス破り手口には効果絶大

センサーライト



電池式・ソーラータイプもあり

防犯カメラ



設置と表示で、侵入を未然防止
センサーライト付カメラも効果的

CP 面格子



各格子が溶接されている物、窓枠一体型の物もある

足場の確認



侵入の足がかりにならないかチェック

防犯ジャリ



庭に敷き詰め、踏みしめる音で侵入を周囲に知らせる

警報機



開閉・振動反応タイプなど、種類はさまざま

インターホン



モニター録画機能付が効果的

CP 玄関ドア



ドア及びカギ・ガラスにCP建物部品を

ドロボウと闘う「CP建物部品」って何?

警察庁が国交省や経産省、さらに建物部品関連の民間5団体と共に設置した官民合同会議にて、ドアや窓などの各建物部品について耐性試験、検討を重ね、「侵入までに5分以上の時間を要する」など一定の防犯性能があると評価した建物部品を「防犯性の高い建物部品=CP建物部品」として公表しました。

※CP (Crime Prevention) = 防犯

侵入までに5分かかるとドロボウの約7割が犯行をあきらめるというデータがあります。

CPマークは、ドア・錠・ガラス・サッシ・シャッターなど17種類3,300品目以上に使用されています。